

平成30年度 教育方針と教育目標

茨木市立清溪小学校

1、学校教育目標

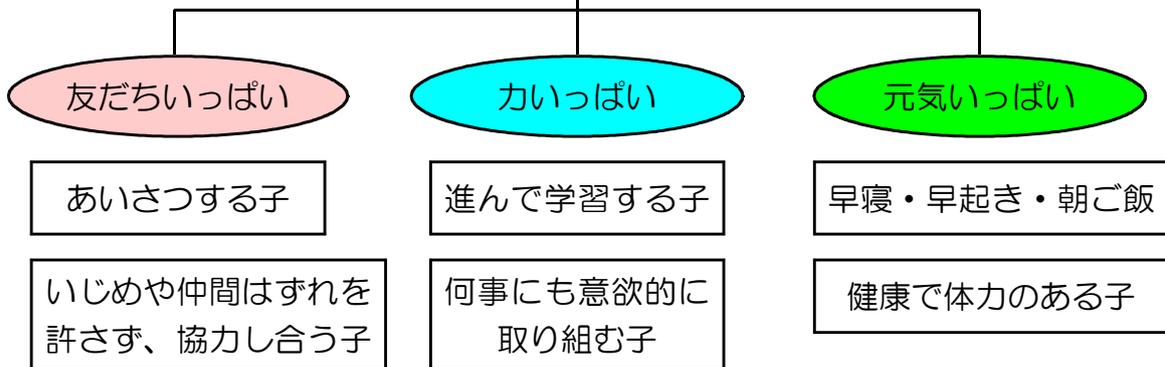
人権尊重の精神に徹し、平和で民主的な社会の一員として、実践力に富む、人間性豊かな児童の育成をめざす。

- (1) 健康 たくましい体と豊かな心を持つ子ども
- (2) 自主 自ら学び、正しく判断できる子ども
- (3) 忍耐 ねばり強く、最後までやりぬく子ども
- (4) 協調 たがいの人格を尊重し、人間味あふれる子ども

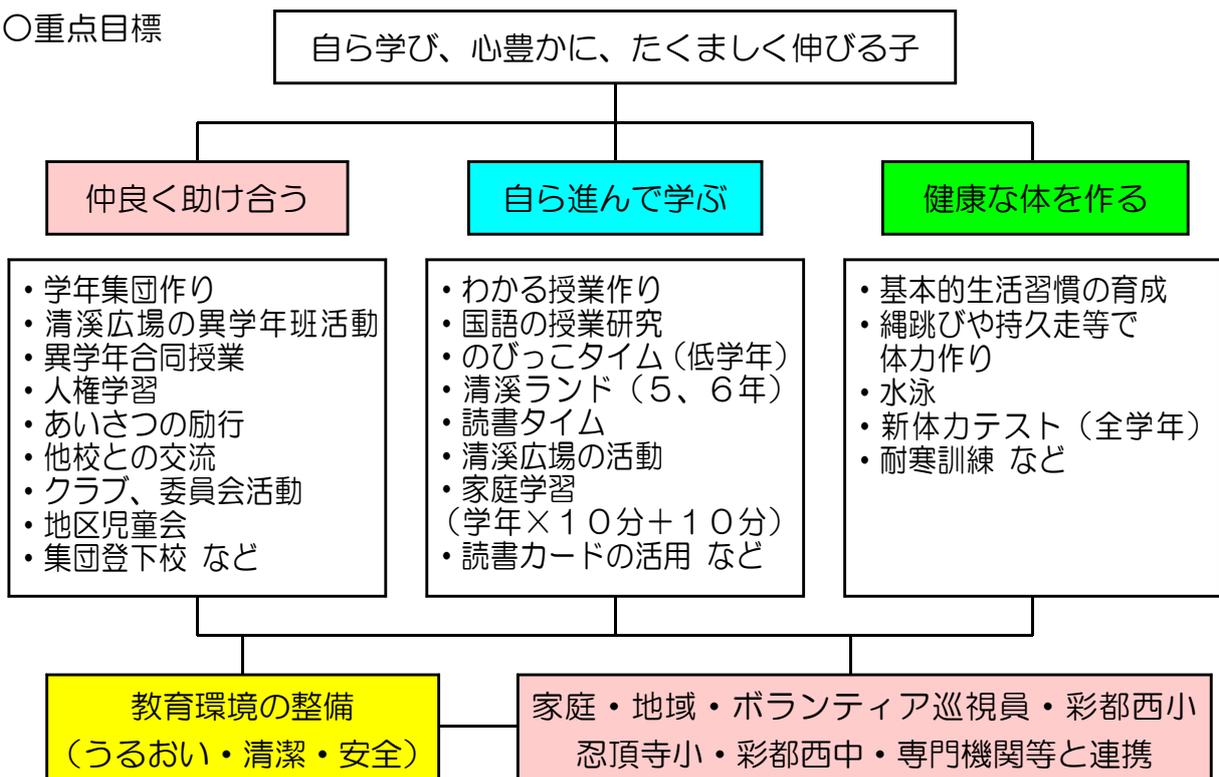
2、本年度の教育目標



3、目指す子ども像



○重点目標



4、本年度の重点目標（☆重点課題）

- ☆（１）わかる授業・生き生きと子どもたちが参加できる授業づくり
（教材研究、板書や教材・教具の工夫、一人ひとりにきめ細かな指導など）
- ☆（２）同年齢及び異年齢集団（清溪広場等）による集団作り
- （３）基本的な生活習慣の育成と体力の向上
- （４）安全・安心な学校づくり
- （５）学校と家庭・地域社会との連携（地域に開かれた学校）

5、本年度の主な具体的な取組

○学習について

- ・教材研究等を通じて授業力を高め、わかる授業の工夫に努める。
- ・研究授業や互いに授業を見せ合うことにより、授業力の向上を図る。
- ・個に応じた教育を推進し、基礎・基本の確実な定着と学力の向上を図る。
（日々の学習、のびっこタイム、清溪ランド（５・６年）など）
- ・「話す・聞く・書く」３つの力を育てる
- ・「自己表現力」を育てるために、学習の中で「話す」機会を設ける。
例えば、①学級会活動等で、子どもたちが主体的に計画し進める発表の場などを設定する。②授業等で、ホワイトボードや電子黒板等を使用して、自分の考えの道筋などを発表する機会を増やす。
- ・読書を奨励し、読書タイムの雰囲気づくりと読書タイムの保障をしっかりとる。
（「朝の読書タイム」、目標を達成した児童への賞状の授与、ライブラリーアワー、ビブリオバトル、移動図書館「ともしび号」や図書館支援員の活用等）
- ・家庭学習（学年×１０分＋１０分）の定着を図る。
- ・どの学年も、音読を大切にする。（音読カードを使用し、授業や宿題等に利用する。）
- ・学級集団作りはもとより、清溪広場の活動等を活用し、異学年児童の関わりと集団作りを積極的に進める。
- ・外国語、道徳の時間を充実させ、教材研究と指導の工夫の推進を図る。
- ・日常的に縄跳びや持久走を継続し、子どもたちの体力の向上を図る。
（茨木っ子グローイングアッププラン）

○指導について

- ・子どもたち一人ひとりの人格を尊重し、良い関係を作っていくために、体罰はもちろんのこと、呼び捨てでは呼ばない環境を作る。
- ・「のびっこタイム」の充実、教材準備と雰囲気づくり、時間の保障をしっかりとる。
- ・教員個々の特性を活かし、一部教科担任制、交換授業等を積極的に取り入れる。
- ・１学年の児童数が少ないことを考慮し、可能な教科については、２または３学年合同授業を積極的に取り入れる。
（例えば、低学年体育、高学年体育、１・２年合同図書、音楽 など）
- ・どの学年も、他校（彩都西小や忍頂寺小など）との交流を積極的に行う。
- ・地域学習・体験学習に基盤をおいた全学年による総合学習「清溪広場」を進め、地域保護者との連携を図るとともに、「生きる力」を育てる。
- ・情報機器等の活用を図る。
- ・保護者に学習内容や進度等を分かりやすくするために、「学級だより」で学習の内容や進度等を知らせる。
- ・児童の安全を確保するために、下校を教職員が輪番で付き添う。
- ・保護者・地域への情報を発信するために、学校のホームページやブログの更新等、その充実に努める。